

グローバル都市“FUKUOKA”の未来シナリオ

高い経済成長を続けるアジアに地理的接近性を有する福岡は、2035年まで人口の増加が見込まれ、今後成長が期待される都市です。しかし、未来の社会状況は、現在と大きく異なる様相をみせる可能性もあります。そのとき、福岡は世界の中で、どのような都市であるのでしょうか、あるいはどうあるべきでしょうか。

今回の都市セミナーは、ピケティ『21世紀の資本』など多数の翻訳や評論活動で活躍中の山形浩生氏による基調講演、当研究所で研究中の多角的な指標に基づく福岡の“未来シナリオ”の中間報告、そして、都市成長のキーとなる「産業」「イノベーション」「ICT」「ダイバーシティ」などの分野に関するパネルディスカッションを通じ、福岡市の未来について、会場とともに議論を深めていきます。

関心をお持ちの皆様のご参加を、心よりお待ちしております。



日時

平成27年11月18日 水 13:30~17:00 (開場 13:00~)

場所

アクロス福岡 4階 国際会議場 (福岡市中央区天神1-1-1)

プログラム

13:30~13:35

開会/あいさつ (公財)福岡アジア都市研究所 会長 橋田 紘一

13:35~14:35

講演「都市のイノベーション:福岡への示唆」

評論家・翻訳家 山形 浩生 氏

14:35~15:20

研究報告「福岡の2つの未来 ~ 成長する都市 vs 衰退する都市 ~」

(公財)福岡アジア都市研究所 上席主任研究員 久保 隆行

15:20~15:30

休憩

15:30~16:45

パネルディスカッション「グローバル都市“FUKUOKA”の未来シナリオ」

モデレーター

・石丸 修平 氏 (福岡地域戦略推進協議会[Fukuoka D.C.]事務局長)

パネリスト (50音順)

・覚田 義明 氏 (株式会社ペンシル 代表取締役社長)

・是久 洋一 氏 (九州大学共進化社会システム創生拠点PJリーダー)

・星野 幸代 氏 (国際連合人間居住計画[ハビタット]福岡本部長補佐官)

・山形 浩生 氏 (評論家・翻訳家)

16:45~17:00

会場との質疑応答/閉会



山形 浩生 氏

【山形 浩生 氏プロフィール】

一九六四年東京生まれ。東京大学都市工学科修士課程およびMIT不動産センター修士課程修了。大手調査会社に勤務、途上国援助業務のかたわら、小説、経済、建築、ネット文化など広範な分野での翻訳および雑文書きに手を染める。著書に『たかかシバロウズ本』(大村書店)、『新教義主義宣言』(河出文庫)など。主な訳書にクルーグマン『クルーグマン教授の経済入門』(ちくま学芸文庫)、バナジー&デュフロ『貧乏人の経済学』(みすず書房)、ピケティ『21世紀の資本』(みすず書房)、ジェイコブズ『アメリカ大都市の死と生』(鹿島出版会)、グレイザー『都市は人類最高の発明である』(NTT出版)ほか多数。

※荒天・災害等により、やむを得ず中止する場合があります。

【主催】 (公財)福岡アジア都市研究所 【共催】 福岡市

【後援】 福岡地域戦略推進協議会[Fukuoka D.C.]、地方シンクタンク協議会九州・沖縄ブロック

申込み 平成27年11月13日(金)まで (※当研究所必着)

定員 150 名 (申込多数の場合は先着順とさせていただきます) **参加無料**

「11/18 都市セミナー (未来シナリオ) 聴講希望」と明記のうえ、参加希望者の《氏名 (ふりがな)》《住所》《所属》《電話番号》《メールアドレス》を書いて、E-mail または FAX にて、福岡アジア都市研究所まで申込み下さい。なお、当研究所ホームページ (<http://www.urb.or.jp>) から申込みが可能です。

申込み・問合せ先 公益財団法人福岡アジア都市研究所 (担当: 馬場・白浜)

住所: 〒810-0001 福岡市中央区天神 1-10-1 福岡市役所北別館 6 階
TEL: (092) 733-5686、FAX: (092) 733-5680、E-mail: event4@urb.or.jp

参加申込み票 (FAX 用)

公益財団法人福岡アジア都市研究所 (FAX. 092-733-5680) 宛

(公財)福岡アジア都市研究所 平成27年度第4回都市セミナー

グローバル都市“FUKUOKA”の未来シナリオ

ふりがな	
氏名	
住所	〒 -
所属	
電話番号	
E-mail	

申込み締め切り日時: 平成27年11月13日(金) (※当研究所必着)

※申込み後、整理券は送付しません。当日は直接会場へお越しください。

※記載いただいた個人情報は、本セミナーの運営、および当研究所からのご案内以外には使用しません。